

7月 19日

国体を前に県西部に 新たな玄関口が完成

能越自動車道の高岡IC―福岡 IC間が開通

■2000年とやま国体の基幹的アクセス道路としても重要な役

割を果たす能越自動車道の高岡IC(インターチェンジ)と福岡IC間(延長六・八キロ)が開通しました。

■一般開放に先立ち、高岡市池田の高岡ICで行われた開通式には、関係者約四百人が出席。白波瀬建設省北陸地方建設局長が「北陸の地域づくりを支える重要な道路です。引き続き整備に全力であたりたい」とあいさつしました。続いて、テープカットやくす玉割り、パレードなどが行われ、

関係者らは高岡市にできた初めてのインターチェンジの完成を祝いました。

■能越自動車道は、石川県輪島市から氷見市、高岡市を經由し小矢部砺波JCT(ジャンクション)までを結ぶ、延長約百キロの自動車専用道路。小矢部砺波JCTで北陸自動車道、東海北陸自動車道と接続しています。

■今月三十日には、東海北陸自動車道の五箇山IC(上平村)―福光IC間(十六・三キロ)の開通が予

定されています。

■高規格道路網が整備されることで、人や物、情報の広域的な交流が促進され、北陸地域の一層の発展が期待されます。

●問合せ

〈能越自動車道〉

富山県道路公社

☎076(441)6166

〈東海北陸自動車道〉

日本道路公団富山管理事務所

☎076(421)9048



開通した高岡IC
(上)
開通式でのテープ
カット(左)

